キャラクター名
天河　静喜（あまかわ　しずき）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ エンジェルハィロゥ	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	喫茶店店長
オプショナル		年齢	20	性別	女
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	36 %
出自	親戚と疎遠	経験	長期入院	邂逅	ビジネス（神城　早月）

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	0	1		1
感覚	6	0	0			6
精神	2	0	0			2
社会	0	1	0			1

HP	24
行動値	14
(非装備時)	14
戦闘移動	19
全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
とりあえず薙ぎ払えビーム	ＲＣ	6r	9	9		光の手+破壊の光＋滅びの光＋コンセントレイト
		0				
合わせ鏡の悪魔	ＲＣ	6r	13	34		光の手＋破壊の光+滅びの光+コンセントレイト+マスヴィジョン

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

コネ：UGN幹部	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
PC1	P 好奇心	N 不安		
親戚	P 同情	N 侮蔑		
神城　早月	P 尊敬	N 劣等感		
友人	P 連帯感	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：エンジェルハイロゥ	2	2	メジャー	-	自身	-	-	
効果：								
光の手	★	2	メジャー	-	-	-	-	
効果： <RC>を感覚で判定								
破壊の光	2	2	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果： <RC>。攻撃力+2の射撃攻撃を行う。自身と同じエンゲージに攻撃できない。1シーンLv回								
滅びの光	3	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果： <シンドローム>。攻撃力+[3×LV]。ただし対象が単体の場合この効果は発揮しない								
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	対決	100%	
効果： <シンドローム>。攻撃力+[5×LV]。シナリオ3回								
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果 :戦闘移動を行う。エンゲージ離脱可能で、他のエンゲージに接触しても移動を終える必要が無く、封鎖の影響を受けない。1シーンLv回								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

基本1,2作成
範囲RC型

＜性格＞
気力という文字を辞書から無くしたような女性。世間知らずで、他者とのコミュニケーションに慣れていない。コミュ障。しかし事務能力などは高めなので支部長をやらされている。病気と死に対して強い嫌悪と恐怖を覚えており、他者のそれも積極的に避けようとする。レネゲイドウイルスによる理性の侵蝕なども病気と見なしている。

＜背景＞
生まれた時から遺伝性の難病（非感染性）にかかっており、その生涯を病室で過ごした女性。日和見感染等を防ぐため面会も容易ではなく、両親・親戚などからも同情されつつ疎まれていた（お金がかかるので）。もちろん何度か病気が快方に向かい、寛解したかに思える時期もあったのだが、それでも病院の庭を歩くことができる程度で、実際に外へ出たことは無いまま病気が悪化し死んだ。
死んだ後にオーヴァードとして覚醒。その時に色素が大分抜け落ちた。それからはレネゲイドウイルスの力で病も治り、UGNで仕事も得、概ね幸せに過ごしており、レネゲイドウイルスを病気治療に転用する目的の研究などで実験データを提供したりもしている。

しかし一度死んだ事から死への恐怖が人一倍強く、また今も自分が健康であることを信じきれていないため、期待を持つことを避けることで喪失を避けようとする。